

令和6年3月18日

令和5年度第2回富津市在宅医療・介護連携推進会議

～議題関連資料～

もくじ

- ◆ 在宅医療・介護連携部門ワーキンググループの取組について..... 1
- ◆ 君津圏域多職種情報共有システム利用申込書・誓約書..... 9
- ◆ 認知症施策部門ワーキンググループの取組について..... 10
- ◆ 富津市オレンジカフェ..... 14
- ◆ 4つの場面ごとの目指すべき姿..... 15
- ◆ グループワークの手順..... 17

(1) 各ワーキンググループにおける令和5年度の取組について

ア 在宅医療・介護連携部門ワーキンググループの取組について

①在宅医療・介護連携部門ワーキンググループ

- 日時 令和5年6月21日(水)
- 19時15分～20時
- 場所 富津市役所5階502・503会議室またはZoom

(ア) マイライフノート(エンディングノート)活用のためのセミナーについて

(株)鎌倉新書と市が協定を締結し、令和5年4月に富津市マイライフノートを発行しました。マイライフノートの活用のためにセミナーの日程や内容について事務局から説明をしました。

(イ) バイタルリンクの普及・活用について

令和5年2月に続き、令和5年度中にも勉強会を計画している旨を伝え、勉強会の日程や内容について説明しました。

(ウ) グループワークについて

ワーキンググループ参加者にてマイライフノートの活用やバイタルリンクの普及・活用等をテーマにグループワークを行いました。

【マイライフノートの活用について】

- 早めを書いてもらうのが良い。
- 書けるところから書いてもらう。一人で書けない部分については、デイサービスや事業所に集まった時に一緒に書くなどが書き始めるきっかけになる。
- 配り方について、医療機関に置く、介護認定時に配る、市のイベントで配る、葬儀屋に置く。
- 元気な時に書いて欲しい。100歳体操に来る方がその場で書いていく。書き方がわからない方がいるので、その場で市職員や包括職員が使い方を教える。
- 1回では書ききれないので、複数回に渡って書いていく。1人で書ききるのは難しいものなので、皆が集まった場で書いていくのが良い。

【バイタルリンクの普及・活用について】

- 課題として、まだ加入者が少ないために、実際にやりとりが起こっていない。メールの通知機能がないので、メッセージがあるか開かないと確認できず、開いてもほとんどメッセージがないため、バイタルリンク自体を開かなくなってしまう。
- メールとリンクして、加入していない人でもメールには通知が飛ぶような機能が欲しい。
- ある程度、一気に加入者を集めないと進まない。市でも積極的に働きかけてもらい、大勢の事業者に参加してもらい、強制的に動かしていかないと、なかなか活用ができないのではないかと。
- 操作方法がわからないなどの問題で利用が広がっていないのではないかと。
- 勉強会をもっとまめに開催する。年1回ではなかなか利用方法などを伝達しづらい。
- 掲示板の機能などを利用した情報交換だけでも良いので、まずは登録して利用してもらおう。
- 実際に使用してみると、会ったことがない方から返信をもらえるなど、交流ができて親近感が湧くなどの経験ができた。

【困りごとに関するフリートーク】

- 人材不足、ケアマネ不足について、現在ケアマネジャーの数が激減しており、40代中頃の方が若い世代になるなどの現状になっている。今後10年、20年を見据えた時に、20代・30代の方の育成が必要になる。

②マイライフノート活用ビデオセミナー

- 日時 令和6年3月12日（火）
- 13時30分～15時
- 場所 富津市役所5階502・503会議室またはZoom
- 出席者 21人

富津市マイライフノート（エンディングノート）の協働発行事業者である株式会社鎌倉新書の協力のもと、マイライフノート活用ビデオセミナーを実施しました。

行政による趣旨説明の後、マイライフノートの活用方法をはじめとして終活に関するビデオを上映しました。ビデオでは、4つの終活としてエンディングノート、相続と遺言書、お墓選び、葬儀の選び方について説明が行われました。

【エンディングノートの記入について】

ビデオ上映後には、鎌倉新書の小谷様から、以下のようなエンディングノートに関するよくある質問について話がありました。

Q1.何を書けば良いのか。

A1.何を書くのも自由。ただし、優先的に書いておきたい項目として、現在の状況（お金や医療）や、将来の希望（医療や介護など）についての意思がある。

Q2.いつ書けば良いのか。

A2.いつ書かなくてはならないというものではない。ただし、思い立ったらなるべく早めを書くことがおすすめ。きっかけの例としては、誕生日、大切な人が亡くなった時、大切な人の命日、新しい年のスタート、などが考えられる。

Q3.どこに保管しておけば良いのか。

A3.盗難に遭いにくく、家族がみつけやすい場所が良い。

また、書き始める場所がわからない方には、富津市マイライフノート（別添資料参照）24ページにあるチェック項目にチェックすることからはじめ、項目のうち準備ができていない部分について記入するのが良いといった説明がありました。

第5章 私の終活プラン

「興味はある」「やらなくてはと思っている」「でもなかなか手を付けられなくて」
多くの方が同じようなお悩みを抱えています。つつい先延ばしにしてしまうのが終活。
ここからは、『はじめの一步』が踏み出せるように、計画を立てていきましょう。

見落としがちな項目を確認

check 1	出生時の本籍地を知っている	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
check 2	突然入院することになった場合、 頼みごとをする人を決めている	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
check 3	要介護状態になった時の 介護の希望をまとめている	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
check 4	延命や終末期医療の希望を記録している	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
check 5	自分の法定相続人が誰かを知っている	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
check 6	預貯金口座をすべて把握している	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
check 7	遺言書を作成している	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
check 8	葬儀の希望を伝えている	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
check 9	お墓を用意している	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

③多職種連携情報共有システム・バイタルリンク勉強会

- 日時 令和6年3月12日（火）
- 18時30分～20時
- 場所 富津市役所5階502・503会議室
- 出席者 12人

帝人ファーマ株式会社の伊藤様と富沢産業株式会社の富沢様を講師に迎え、バイタルリンク勉強会を実施しました。併せて、行政からの趣旨説明や、参加者の皆さまでのグループワークを行いました。

(ア) バイタルリンクについて、バイタルリンク操作体験会

(帝人ファーマ株式会社 伊藤 有 様)

【バイタルリンクの活用方法についての説明】

- バイタルリンクは「電子上の連絡ノート」というイメージ。インターネット上で様々な職種の方が閲覧、コメントできる。
- バイタルリンクの4つの特徴
 - ① 多職種間で時間や場所に左右されずに情報共有を実現
 - ② 多職種間で診ること、連絡することのポイントの共通化をサポート
 - ③ バイタルデータを経時的に管理
 - ④ 安心・安全のシステム設計とフォローアップ体制

【バイタルリンクの操作体験会】

参加者1～2人に1台ずつタブレットを配付し、実際にバイタルリンクを操作することで、使用方法について知ってもらいました。

(イ) バイタルリンクの活用事例発表

(富沢産業株式会社 富沢 道俊 様)

- ターミナルの場面にて、褥そうや痛みが鋭い等の相談が増えている。明日にこれを用意してほしいなどと(バイタルリンク上の連絡帳に)書くと、訪看の看護師やケアマネが来ようかなという話もできる。
- 時系列で書けるので、過去のことも遡ってメッセージを確認できる。

- 管理者は月 5,000 円(税別)。利用者は無料。
- 受け取る側の通知については、メール通知のほか、アプリのアイコンの部分に数字がつく。スタッフによって通知を変えることができる。
- 他の職種を否定的に書き込むと雲行きが怪しくなる。多職種を尊重したコメントでやり取りしてもらえると良い。
- 人口が少なくなる地域の方がより活用してほしい。まずは、(管理者に連絡し)患者の部屋を立ち上げることからスタートする。
- 在宅に限らなくても、何らかの問題がある患者さんについて情報共有したい、という形でも良いと思う。
- 令和元年房総半島台風のときなどには、電波が通じて(バイタルリンクは稼働し)、電話が使えないこともあった。
- ICTは顔の見える関係のための潤滑油。ICTありきではなく、ICTは柱の一つということで、明るい未来を開いていけると良い。

(ウ) グループワーク

グループワークの趣旨は、バイタルリンクを日常の業務に活かせる機会や、実際に触ってみた感想を共有することを目的としてグループワークを実施しました。

日常の業務に活かせる機会については、在宅医療・介護連携が必要な4つの場面でどう活用できるか、または、情報共有の際の手段としてどう活用できるかについて検討をしていただきました。

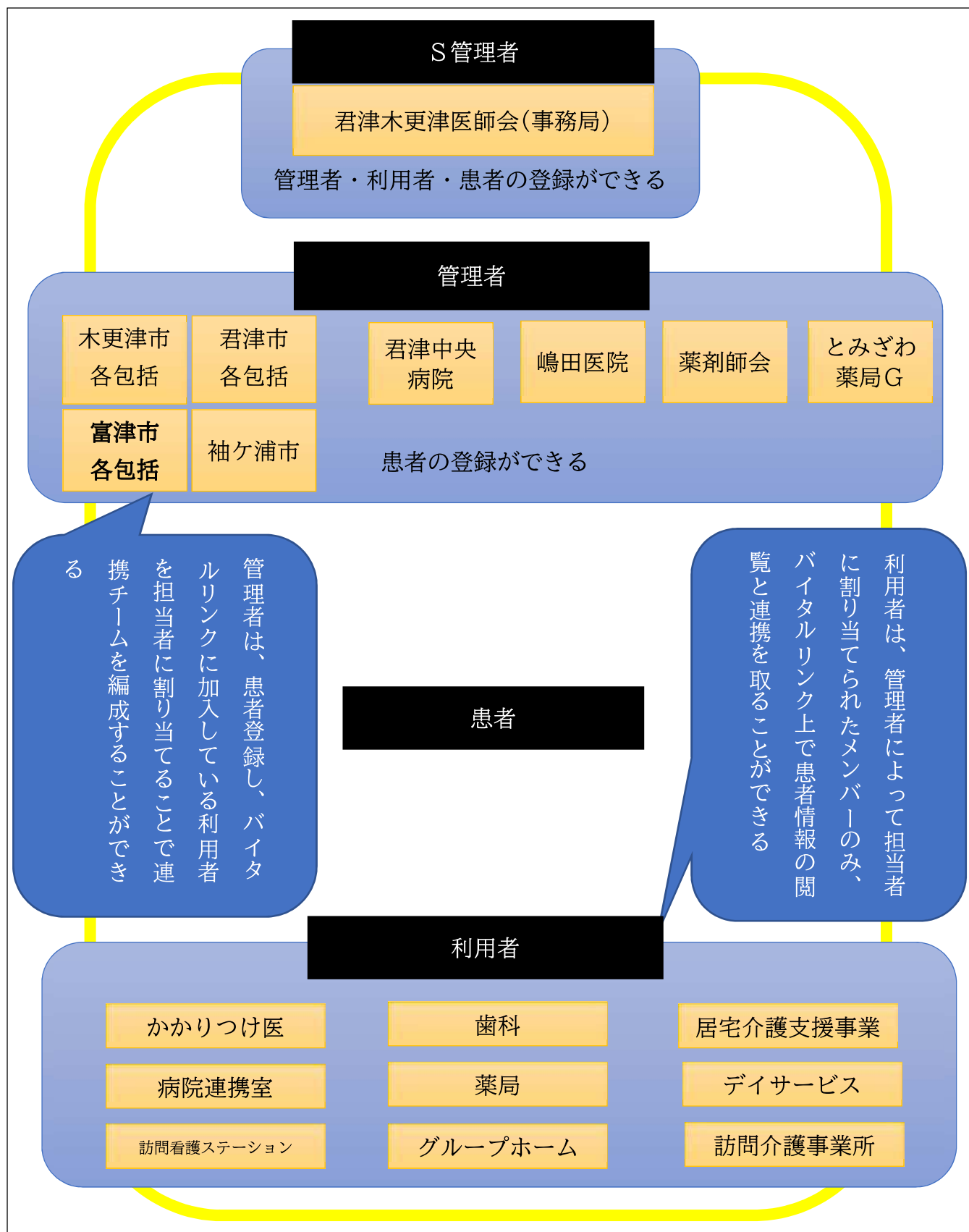
(エ) 参加者の意見

- 以前よりはわかったが、ハードルが高いと感じた。
- 実際に体験ができてよかった。入ってくれる事業所が増えて有効に活用できると良いと思った。
- 鍼灸師などの疼痛ケアも入れて欲しい。

(オ) バイタルリンクへの登録のお願い

「君津圏域多職種情報共有システム利用申込書・誓約書」を富津市介護福祉課へ提出してください。

君津木更津医師会ネットワーク組織図



【書式2-① 利用者作成】医療関係者/職員→S管理者または行政等管理者 新規

君津圏域多職種情報共有システム利用申込書・誓約書（利用者用）

年 月 日

君津木更津医師会 代表者 様

木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市 管理者 様

申請者 住所

名称

代表者名

印

君津圏域多職種連携情報共有システムに利用者として参加したいので、「君津圏域多職種連携情報共有システム利用規約及びサービス提供者作成の「利用規約」に同意し、下記のとおり、システム管理担当者及び利用職員を定め、本システムの利用を申し込みます。

なお、本システムを利用するにあたり、システム管理担当者及び利用職員が「君津圏域多職種連携情報共有システム利用規約」を遵守することを誓約します。

所属機関名	(ふりがな)		
所属機関住所			
電話番号		FAX 番号	
E-mail			
システム管理担当者名			
利用職員名			
利用職員名			
利用職員名			
備考			

S管理者または行政等管理者記入欄 ・アカウント名	
・初期パスワード	

イ 認知症施策部門ワーキンググループの取組について

①認知症施策部門ワーキンググループ

- 日時 令和6年3月18日(月)
19時15分～20時
- 場所 富津市役所5階502・503会議室またはZoom出席者

(ア) 認知症メモリーウォークについて

- 日時 令和5年10月29日(日曜日)13時～
- 場所 イオンモール富津
- 目的 認知症の方が安心して暮らせるよう、認知症に対する偏見を取り払い認知症という病気の理解を深めるため市民に対して普及啓発を行う。

【実施結果】

42名の参加者を警察からの指導に基づき1班7名程度、6班に分け一列で歩行。事故や苦情なくスケジュールを行うことができた

- 一般参加 42名
- ボランティア 21名
- 実行委員会 15名 合計 78名

(イ) 認知症サポーター養成講座(出前講座)について

いきいき百歳体操に参加している方や、新たにサロン等を立ち上げたところに向け出前講座が行えるように働きかけている。

【実施結果】

市内のサポーターは令和6年3月現在3475名

令和5年4月5日	富津市役所令和5年度新規採用職員研修
令和5年8月1日	青木メロン会2
令和5年10月30日	富津市立図書館
令和6年1月21日	天神山地区福祉大学第4期受講生
令和6年2月14日・ 2月21日	望みの門デイサービス

(ウ) 認知症初期集中支援チーム員会議について

平成30年4月に設置され、現在までに初期集中支援チームとして関わっているケースは58名。モニタリング後はケアマネジャーに引き継ぎ、介護サービスの導入が行われている。

毎月第3火曜日18時30分からチーム員会議を行っている。

(エ) 公共図書館における認知症カフェの活用

公共図書館が認知症施策における役割を果たすための取り組みには、

- ① 多世代の人に認知症の知識を普及できる。
- ② 地域住民の参加を促せる。
- ③ 図書館の資料を活用できる。

以上のことから意義があると考えられる。

【実施結果】

- 運営としては認知症の本人・チームオレンジによる月1回の開催を目標に挙げたが、令和5年12月にオープンをし、まだ軌道に乗っておらず、認知症地域支援推進員と図書館職員で対応している。
- 9月は認知症アルツハイマー月間であり、図書館の一角を認知症カラーであるオレンジ色にして普及啓発を行っていきたい。令和6年度の目標とし、継続したい。

(オ) 認知症ピアサポート活動について

【実施結果】

本人の居場所づくりの一環として、認知症カフェを通じた仲間作りを進めているので、継続したい。2025(令和7)年までに全都道府県での実施が目指されている。

(カ) 千葉県認知症高齢者を抱える家族交流会の開催について

認知症の方を抱える家族が悩みや情報を共有したり仲間を作ったりすることを目的に、『認知症の人と家族の会』千葉支部の方をお招きし、認知症高齢者を抱える方の家族交流会を開催。

【実施結果】

- 日時 令和5年11月28日13時30分～
- 場所 イオンモール富津
- 参加者等 8名。富津地区地域包括支援センターに協力いただきながら行うことができた。今後も地域包括支援センターと協力しながら行っていきたい。

(キ) 千葉県認知症地域医療支援事業(認知症サポート医による普及啓発)について

【実施結果】

- 日時 令和6年1月19日13時30分～
- 場所 望みの門紫苑荘
- 参加者 28名(認知症本人3名参加)。
- 内容等 今年度は、2回目の開催。認知症カフェ(門カフェ)を活用し、音楽療法を取り入れている「いどぼたの会」のみなさまと実施。「ふつつんお絵かき音頭」を参加者や認知症サポート医川口先生と一緒に踊ったり、お茶を飲んだりした。川口先生から記憶をつかさどる脳の解剖生理を解説いただき、参加者と日頃の悩み情報の共有、仲間づくりを行うことができた。

(ク) 認知症カフェについて

認知症の人やそのご家族が地域の人や介護・福祉等の専門家と気軽に集い、家族の介護に携わる人の息抜きや情報交換をして安心して過ごせる居場所である。

【実施結果】

令和5年12月14日に図書館カフェがオープンした。認知症カフェの詳細は、別紙参照

(ケ) 認知症サポーター チームオレンジについて

認知症を正しく理解し偏見を持たず認知症の人や家族を温かく見守ることからスタートした認知症サポーターキャラバンが第1ステップ。

第2ステップとして、令和元(2019)年から、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて、近隣チームによるチームオレンジの活動始まっている。令和7(2025)年までには全市町村に設置することとなっている。

富津市では令和4年10月26日に既存の『岩坂おたすけクラブ』に向け、チーム

オレンジの講習を受けていただき活動していただいている。その中には認知症の本人もチーム員となっている。

【実施結果】

令和6年1月31日「飯野スマレ会」に向け、チームオレンジの講習を受けていただいた。「岩坂お助けクラブ」を含め、2チームが活動している。

(コ) 認知症とともに生きる希望宣言

認知症施策推進大綱では「認知症とともに生きる希望宣言」について『認知症本人大使(希望宣言大使)』を創設すること等により本人等による普及活動を支援すると明記されている。

千葉県においても令和4年12月、ちば認知症オレンジ大使が2名任命された。どの市町村でも本人発信が当たり前になることを都道府県が推進していくために、地域版希望大使の設置はとても重要であると考えている。

富津市でも「認知症本人大使《地域版希望大使》」の設置について準備を進めていきたいと考える。

【実施結果】

認知症状の進行や程度は変化してしまうことが多く、今日できたことが明日できなくなったりしてしまうことが多い。本人の負担を考慮し、認知症カフェに参加いただき、一緒に活動を行った。

(サ) 認知症家族の会の立ち上げについて

「認知症」と診断されると大きな不安や恐怖におそわれることが少なくない。

その様なとき、同じ立場の仲間が「あなたの苦勞は代われないけど、皆で支え合いましょう」と言ってくれる「家族の会」は、認知症の人を見守る家族にとって心強い支えとなる。

不安なこと、困ったことがあったときは「家族の会」で一緒に話し合い、また仲間を見つけることができることで気持ちが楽になると考える。

認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を目指すため、富津市においても認知症地域支援推進員を中心にボランティア5名の方で活動予定である。

富津市 オレンジカフェ



認知症の人やそのご家族、地域の皆様がどなたでも気軽に集える「憩いの場」です。あしをはこんでみませんか。



	名称	時間	場所	メニュー	担当
天羽地区	石窯カフェ オアシス	毎月第4木曜日 10:30~14:00	レストラン ポーノレガーノ (有料老人ホーム オアシス慶寿 内) 岩本 725-1	(会場使用料・お茶代) ・昼食 ・ケーキ	株式会社 慶寿 事務局 0439-80-8151
	わたしたちのカフェ	毎月第3木曜日 14:00~15:30	サービス付高齢者向け住宅 3F 食堂スペース 長崎 724	飲み物 ・お菓子セット	サービス付高齢者住宅 「わたしたちの生きる証」事務局 0439-32-1680
大佐和地区	ジジババカフェ ゲンキ×2	毎月第3月曜日 11:30~14:00	デイサービスふれあい 岩瀬 739-10	飲み物・軽食付き	デイサービスふれあい 0439-65-4245
富津地区	門カフェ	毎月第3金曜日 13:30~15:30	望みの門紫苑荘内 多目的ルーム 富津市 617-14	飲み物・パン・菓子付き	望みの門 法人事務局 0439-87-9381
	つくくん家	毎月第3水曜日 13:30~15:30	特別養護老人ホームつつじ苑 上飯野 1426-3	飲み物・おやつ付き	特別養護老人ホームつつじ苑 0439-87-6101
	図書館カフェ	毎月第2木曜日 13:00~15:00	イオンモール富津3階 図書館前広場	飲み物・お菓子等	富津市立図書館 0439-29-7514

※日程、金額については変更の可能性がありますので参加希望の際は各施設にお問い合わせください。

富津市役所 介護福祉課 0439-80-1300

認知症地域支援推進員

4つの場面ごとの目指すべき姿

- 在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる場面(①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取り)を意識した取組が必要である。
- 4つの場面ごとの現状分析、課題抽出、目標設定等を行う前提として、地域のめざすべき姿を必ず設定し、その目的を実現するために、達成すべき目標を4つの場面ごとに設定することが重要である。

出典：令和2年9月、厚生労働省老健局老人保健課発行「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」23頁

在宅医療・介護連携推進事業における目指すべき姿

住み慣れた地域で安心して人生の最期まで暮らせるまち

日常の療養支援

本人とご家族がどちらも、治療や介護サービス等を継続して活用し、健康管理や気持ちの変化を専門職で共有することにより、在宅で安心して暮らすことができる

現状把握

現状分析・
課題抽出・施策立案

評価

改善

入退院支援

本人の心身状態を把握したうえで体調の変化を早期に発見し、再入院のリスクを回避すると同時に、在宅での生活を継続する

現状把握

現状分析・
課題抽出・施策立案

評価

改善

急変時の対応

医療と介護、救急(消防)が連携することにより、本人の意思を尊重したうえで、急変時に適切な対応ができる

現状把握

現状分析・
課題抽出・施策立案

評価

改善

看取り

最終的に、すべての利用者がよかったと思える理想の最後を迎えられるような看取りができるようにする

現状把握

現状分析・
課題抽出・施策立案

評価

改善

グループワークの手順

グループワークの趣旨は、来年度の在宅医療・介護連携推進会議において実施したい活動や研修等を挙げていただき、その目的や期待できる成果についてご検討いただくことです。時間は20分とします。

①自己紹介のうえ、司会進行と書記を決めてください。

例)司会進行…起きた時間がいちばん遅い方をお願いします。

例)書記…起きた時間がいちばん早い方をお願いします。

②別紙グループワークシート（在宅医療・介護連携推進会議年間予定）に令和5年度の実績及び令和6年度の現時点での予定について予め記載しております。令和6年度に行った方が良いと思う会議・活動や受講してみたいセミナーなどを挙げていただければと存じます。

※現時点での予定についても、実施内容や実施時期等についてのご意見があれば挙げていただければと存じます。

③挙げていただいた会議・活動、セミナーにより在宅医療・介護の現場において、どんな目的が果たせる(こういった成果が期待できるか)を挙げてください。

※在宅医療・介護連携が求められる4つの場面（①日常の療養支援②入退院支援③急変時の対応④看取り）での目指すべき姿をご参照ください

(例) マイライフノート活用ビデオセミナーを通じ終活への理解が深まることが期待でき、マイライフノートに記入をする方が増えることで、“看取り”の場面で本人の意志を反映することにつながる。

④時間の許す限り、司会または書記の方に発表をお願いします（1グループ3分程度）。

こういった意見が出たということを教えていただくだけで構いません。

⑤大変お手数ですが、会の終了後、書記の方はグループワークのシートを事務局までご提出ください。

ご協議いただいたところまで構いません。